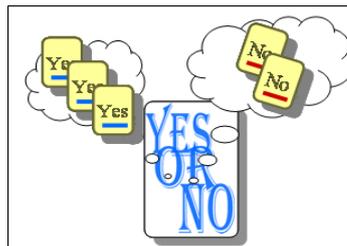


## 防災ゲーム「クロスロード」を体験しよう

### 1 〈クロスロード〉— 数問実習予定

- 1) ゲームの概要—キーワード:「分かれ道」、「ジレンマ」
- 2) 「クロスノート」の作成
- 3) グループでのディスカッション、意見交換
- 4) ディスカッション内容の紹介
- 5) 簡単な解説、コメント
- 6) 各地でのとりくみ&「クロスロード・ファシリテータのつどい」

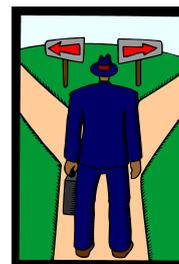


### 2 〈クロスロード〉がつくられた経緯

- 1) 阪神・淡路大震災での実話—「神戸市震災人材バンク・ビデオインタビュー・プロジェクト」
- 2) ジレンマ:「こちらを立てれば、あちらが立たず」の意思決定—予め決まった正解(マニュアル)に従うのではなく、「その時その場でみなで正解を作った」(神戸市職員のことば、名言と思っています…)
- 3) 「その時その場でみなで正解を作る」ための能力向上を目指した活動⇒〈クロスロード〉
- 4) その後—バリエーション:「市民編」・「高知県編」・「要援護者編」・「学校安全編」・「海上保安庁編」・「感染症対策編」・「大學生生活編」・「東海地震編」・「消防編」・「津波対策編」…
- 5) 「昔、だれかがした経験から学ぶ」から「今、自分たちが直面する問題を〈クロスロード〉方式で学ぶ」→東日本大震災の被災地でも活用

### 3 〈クロスロード〉の特徴—新しい防災・減災学習ツールの必要性

- 1) 受け身で知識を学ぶだけでなく、当事者として能動的に考え、悩み、判断する
- 2) 多様な視点・価値観への気づきとそれを踏まえた合意づくり  
⇒自助・共助・公助の役割分担へ
- 3) ジレンマ(「これは困った…」)を、現状を変えるための「処方箋」に
- 4) さらに進めば…
  - ・自分たち自身が抱える具体的課題をとりあげる
  - ・考えたこと(話したこと)を形(ノート)にしていく⇒「クロスノート」
  - ・共通のフォーマットで表現する⇒「クロスロードご当地編」
  - ・立場のちがう方々(自治体、住民、NPO、研究者…)や他の地域と情報交換(交



流)する

※「クロスロード新聞」: <http://maechan.net/crossroad/shinbun.html> (「WEB クロスロード」)

※詳細は、別紙「ゲーム・参考書情報」を参照ください

# 防災教育ツール&参考書のご案内

## ■「クロスロード」

「クロスロード」とは、英語で「岐路」、「分かれ道」を意味しています。災害が起こる前の備え、また起こったからの対応、そして、被災からの復旧・復興過程では、多くのジレンマ（「あちらを立てればこちら立たず」）を伴う重要な決定が必要になります。

「クロスロード」は、トランプ大のカードを使用して、ゲーム感覚で災害への備えや災害後に起こる様々な問題を自らの問題として考えるための防災教育素材（ゲーム）です。しかも、グループで進めるゲームなので、単に、自然災害や防災についての知識を高めるだけでなく、自分とは異なる意見や価値観への気づきも得られます。さらに、意見交換や討論を通じて、わが家、わが街の防災について、みんなで合意を作っていくための基盤ともなる教材です。

### ◆市販されている「クロスロード」

「クロスロード（神戸編・一般編）」 大セット（7000円）、小セット（2000円）

「クロスロード（市民編）」 大セット（7000円）、小セット（2000円）

「クロスロード（災害ボランティア編）」 大セット（7000円）、小セット（2000円）

\*いずれも、解説書（マニュアル）付。大セットは20人分、小セットは5人分のセット。



### ◆ご購入は

京都大学生協のウェブサイト (<http://www.s-coop.net/rune/bousai/crossroad.html>)

または

〒606-8317 京都市左京区吉田泉殿町 京大西部会館 ブックセンタールネ 担当：氏家（うじいえ）

電話：(075) 771-7336 FAX：(075) 751-8045

## ■「ぼうさいダック」

（大判500円、トランプ判300円、解説ビデオ1890円）

幼稚園から小学校低学年の子どもを対象にした、画期的なお遊戯型の安全教育教材！自然災害だけでなく、火災、交通事故、誘拐など、身を守るための「最初の第一歩」を学びます

●制作：吉川肇子・矢守克也

●申込：テレビ朝日映像株式会社 営業企画局 「ぼうさいダック」事

務局 〒106-0032 東京都港区六本木1-1-1

電話：03-3587-8150 FAX：03-3505-3781



## ■参考図書

### ●【最新刊！】「復興と支援の災害心理学—大震災から『なに』を学ぶか」（2012年7月刊）

ポスト3.11の今、被災地の復興、支援はどうあるべきなのか。心の復興・コミュニティの復興・社会と文化の復興、3つの角度からその課題と可能性を探る。畑村洋太郎氏（福島原発事故調査・検証委員会委員長）へのインタビュー併録。

〔藤森立男・矢守克也（共編著） 福村出版 2400円〕

### ●「増補版：〈生活防災〉のすすめ—東日本大震災と日本社会」

「『いつか起こる』は今日かもしれない」—東日本大震災の被災地に生きる、地域と地域、人と人のつながり。災害とともにこれからも生きていくために日々の生活の智恵と工夫を改めて見直す、生活防災のエッセンスと東日本大震災の2つの補章を追加した最新増補版！

〔矢守克也（著） ナカニシヤ出版 1300円〕

● 「ワードマップ：防災・減災の人間科学」

「防災マニュアル」、「正常化の偏見」、「世直し/立て直し」、「安全・安心」、「クロスロード」など、50のキーワードをとりあげ、災害の現場に寄り添い、いのちを支えるための新たな実践を展望。各項目4~7ページの読み切りです！  
[矢守克也・渥美公秀（共編著） 新曜社 2400円]

● 「防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション・クロスロードへの招待ー」

総頒布数5万部を突破。参加型で、正解がない」防災研修素材、防災教育教材として国内外で高い評価を得た「クロスロード」について、そのオリジナルバージョンである「神戸編」を中心として、ゲームのねらい、ゲームの進め方、解説の方法などをわかりやすく解説した参考書。  
[矢守克也・吉川肇子・網代 剛（著） ナカニシヤ出版 2000円]

● 「クロスロードネクストー続：ゲームで学ぶリスク・コミュニケーションー」

新型インフルエンザ対策のツボを予言！ 「感染症対策編」を含む「クロスロード」解説書の第2弾新発売。市民編、「学校安全編」などのクロスロードの多様なバージョンの紹介。防災すごろく、ぼうさいダック」他のゲームの使い方、ゲームの作り方のコツの紹介など、もりだくさんの内容。ゲームが開く新しい学びの世界を体験！  
[吉川肇子・矢守克也・杉浦淳吉（著） ナカニシヤ出版 2500円]

● 「〈生活防災〉のすすめー防災心理学研究ノート」

日常生活の中から防災を見直そう！〈生活防災〉とは、福祉、環境、教育など、防災以外の日常生活と防災とを結びつけようという考え方。だから、本書は、防災に興味・関心がない人にこそオススメ。生活防災〉をキーワードに、わが国の防災が今後進むべき方向性についても縦横に考察。「クロスロード」を活用した取り組みについても言及。  
[矢守克也（著） ナカニシヤ出版 1000円]

● 「防災人間科学」

被災者が生きてきた時間に寄り添いつつ、その体験を学び、語り、伝え、防災実践の共同体を作るー阪神・淡路大震災以来、地域防災実践に深く関わってきた著者が、従来の「防災心理学」の境界を力強く踏み越え、行動し参加するフィールドの学を構想する。「リスク社会」における防災研究のあるべき姿を説く理論と実践の融合の結晶。  
[矢守克也（著） 東京大学出版会 3800円]

● 「アクションリサーチー実践する人間科学ー」

研究者自身が現場（フィールド）に入り、当事者と共に変化を巻き起こし、新しい社会を生み出していく。アクションリサーチとは、このような共同実践のこと。アクションリサーチの現場から理論まで、そして、応用から基本まで。著者の実践経験のすべてを注いで書かれた、アクションリサーチへの魅惑的な招待状。  
[矢守克也（著） 新曜社 2900円]

● 「夢みる防災教育」

防災教育とは、防災について教える（学ぶ）ことではなくて、防災を通して教える（学ぶ）こと。人間や社会が、自分はどうなりたい、「この町をもっとよくしたい」ー防災教育を、単なる防災知識・技術の伝授としてではなく、人や社会の夢を実現していくための機会（チャンス）であると位置づけた画期的な書。  
[矢守克也・諏訪清二・船木伸江（著） 晃洋書房 2800円]

